

平成 22 年度京都大学防災研究所共同研究集会「台風研究会」のご案内

「台風などの強風の予測と災害発生機構の解明および低減策に関する研究集会」

台風は最も激しい気象擾乱であり、今日に至ってもなお、日本を含めた世界各地に大きな災害をもたらしています。先年のバングラデシュやミャンマーに上陸したサイクロンのように、発展途上国では被害は依然として甚大です。最新の観測手法や予報技術による台風の研究と、被害の実態について総合的に議論して、災害の軽減につなぐことが大切です。今日的な課題である、台風に対する地球温暖化の影響をも話題として、将来の台風の予知・予測に向けた議論も必要です。また、瞬発性の被害をもたらす竜巻や突風についての研究も、近年の研究成果はめざましいものがあります。本研究集会は、このような台風や竜巻などによる風水害について、気象災害の基礎から応用面での研究・調査に携わる関連分野の研究者・技術者が知見を持ち寄り、異分野間の交流を促進し、今後の台風や竜巻など対策についての議論を行うことを目的としています。

研究代表者：白土 博通（京都大学大学院工学研究科）

防災研担当者：林 泰一（京都大学 防災研究所 流域災害研究センター）

主催：京都大学防災研究所

日時：平成 23 年 1 月 12 日（水）・13 日（木）

場所：京都大学生存圏研究所木質ホール（JR 奈良線黄檗駅下車、徒歩約 10 分）

●講演ご希望の方は、平成 22 年 12 月 10 日（金）までに、以下の例に従い、演題、発表者などを下記へご連絡ください。旅費の支給をご希望の方はその旨もお知らせください。なお、旅費支給は、講演者を優先いたします。また、旅費支給の希望人数に応じて額の調整をいたします。

●参加のみご希望の方も同様に、平成 22 年 12 月 24 日（金）までにお申し込みください。

申し込み先：京都大学・林泰一 [hayashi@rcde.dpri.kyoto-u.ac.jp](mailto:hayashi@rcde.dpri.kyoto-u.ac.jp)

●なお、報告書作成のため、講演者の方には後日 2 ページ程度の講演要旨の提出をお願いいたします。

●住所をお知らせいただければ、後日報告書を送付いたします。

=====参加票例（講演希望の場合）=====

講演者： 白土博通（\*）・林泰一 （発表者に\*をつける）  
講演タイトル： 台風の構造について  
講演希望時間帯： いつでも可（または1月12日午後、1月13日午前・午後の講演の希望を記入）

※講演プログラム作成上、必ずしもご希望に沿えない可能性がありますので、ご了承ください。

懇親会： 参加する （懇親会は1月12日の講演後に予定しています。）

発表者所属機関等

京都大学 防災研究所

郵便番号: 611-0011

住所: 宇治市 五ヶ庄

e-mail: [typh00n@tenki.dpr1.kyotodaigaku.ac.jp](mailto:typh00n@tenki.dpr1.kyotodaigaku.ac.jp)

以下、旅費希望の方（公務員・国立大学法人教職員の場合）

職名： 准教授

旅行区間： 東京ー京都

旅行期間： （平成22年1月12-13日のようにご希望をお書きください。）

以下、旅費希望の方（私立大学・民間等の研究者・大学院生の場合）

職名： 研究員

自宅郵便番号： 154-0013

自宅住所： 東京都世田谷区駒沢公園 1-1

旅行区間： 東京ー京都

旅行期間： （平成22年1月12-13日のようにご希望をお書きください。）

※出張依頼状が必要な方は、上記に加えて

依頼状の宛名（所属・職名・氏名）

依頼状の送付先（事務担当者の住所・所属・氏名）

についてもお知らせください。なお、同一所属機関の方が複数申し込まれた場合には、事務手続きの都合で一人の方に依頼状を発送させていただきます。

=====参加票例（参加のみの場合）=====

氏名： 林 泰一

懇親会： 参加（あるいは、参加しない）

所属機関学部学科名、または部課名： 京都大学 防災研究所

所属機関郵便番号： 611-0011

所属機関住所： 宇治市 五ヶ庄

e-mail: [typh00n@tenki.dpr1.kyotodaigaku.ac.jp](mailto:typh00n@tenki.dpr1.kyotodaigaku.ac.jp)

---